

水稲一発

環境保全型肥料

ツバメコートH580

ネオツバメコートH580

安心・安全・省力による安定生産

110日
肥効持続

140日
肥効持続



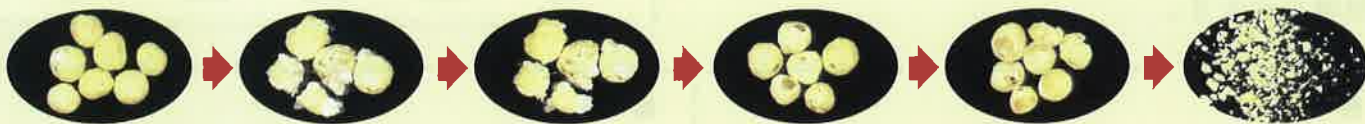
ネオツバメコートH580



ツバメコートH580



◀ 殻の残らないイオウコーティング肥料使用 ▶



サンアグロ

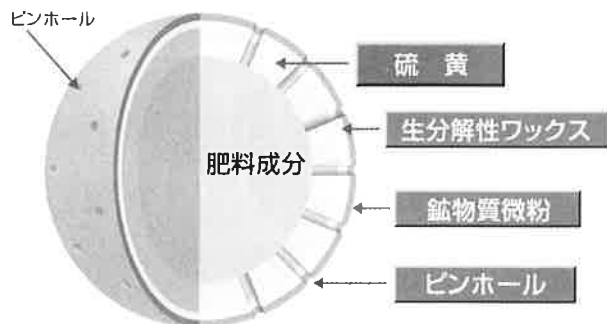
環境にやさしい! 水稲元肥一発型肥料

ツバメコートH580シリーズ

特長

- 図のような構造になっていて、微生物により初めに生分解性ワックス、次に硫黄被膜が徐々に分解されて、肥料成分がゆっくり溶出していきます。
- 被膜はすべて生分解の物質で作っているため、土壌中に未分解の樹脂等が残存することもなく、生きた土作りの推進に何ら影響を与えることはありません。
- 即効性と60日、80日、110日、140日タイプの硫黄コーティング肥料をブレンドすることにより、初期成育を確保し、生育後期まで肥効がスムーズに持続する一発型肥料です。

ツバメコートの構造



硫黄被覆肥料は被膜が全て生分解性の物質で、しかも被膜の主成分が作物の養分となる唯一の被覆肥料です。

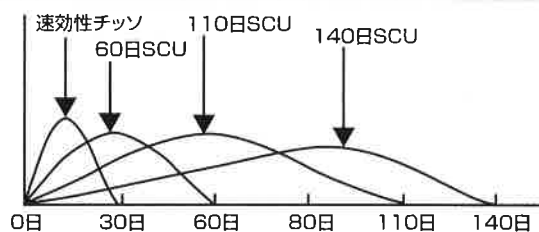
成分の内訳

銘柄	チッソ		リンサン	カリ
	アンモニア態	コーティングチッソ	可溶性	水溶性
25-8-10	3%	22%	8%	10%

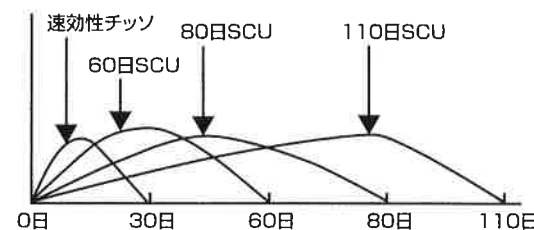
使い方

- 施肥量の目安は、
 中晩生品種：ツバメコートH580
 30～50kg/反
 早生品種：ネオツバメコートH580
 25～35kg/反
 これは目安ですので、地域、土壌により適宜調整して下さい。
- 施肥後の降雨などにより一部浮上する事がありますが、稲の生育には何ら問題ありませんので安心してお使い下さい。なお、施肥後速やかに入水するか、耕起することで浮上を軽減できます。

ツバメコートH580の肥効モデル



ネオツバメコートH580の肥効モデル



製造

サンアグロ

販売